

年度	2024
講義名	日本語学概論 I [1/2]
担当教員	三好 伸芳
開講期・曜日・時限・教室	前期 木曜日 3時限 武蔵野 1101
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	1年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	この授業では、日本語学において扱われる基礎的な概念を参照しながら、日本語がどのような特徴を持つ言語で、どのような研究方法があるのかといった点について学ぶ。言語の普遍的な性質と世界における日本語の位置づけについて説明したうえで、言語学で問題にされる諸分野を取り上げ、言語および日本語を分析的に捉える感覚を身につける。
------	---

知識・専門性の到達目標 関心・態度・人格の到達目標	日本語の成り立ちや日本語の特徴の概要を理解している。【教養・基礎力】
------------------------------	------------------------------------

思考力・判断力の到達目標	日本語学を学ぶことにより、日本の歴史や社会と日本語との関係性を学び、言語文化のあり方を主体的に考えることができる思考力を身に付ける。【ことばの力】
--------------	---

文感力・発信力の到達目標	日本語の特質を理解し説明することが出来る。【表現力】
--------------	----------------------------

「響学スパイラル」取り組み方法	本科目では、日常的に接している日本語を言語学的な観点から問い直し、日本語の特徴および日本語学における問題意識を取り上げる。そのため、「問う」、「考動する」という「響学スパイラル」の学びを実践していくことになる。
-----------------	---

授業形態		対象
A: 課題解決型学習 (PBL) 企業、自治体等との連携あり		—
B: 課題解決型学習 (PBL) 連携なし		—
C: 反転授業 (知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		○
D: 討議 (ディスカッション、ディベート等)		—
E: グループワーク		—
F: 発表 (プレゼンテーション)		—
G: 実習、フィールドワーク		—
H: 双方向授業 (ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)		○
I: 双方向授業 (ICT活用あり: クリッカー、タブレット、スマートフォン等)		○
J: 講義のみ		○
K: その他		—

授業形態		対象
A: ノートPC必携		—
B: 講義資料や授業教材のオンライン配信		○
C: レポート課題等のオンライン提出		○
D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用 (学修支援システム (Course Power)、Google Classroom、Teams等)		○
E: オンラインメディアの活用 (e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)		—
F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用		—
G: その他		—

予習 (事前学修)	各授業 [120]分 授業テーマについて自分なりに調べてくる。
-----------	---------------------------------

復習 (事後学修)	各授業 [120]分 毎回課される授業課題に取り組んで提出する。
-----------	----------------------------------

評価項目	評価項目の詳細内容	割合
課題提出 (レポート)	毎回の提出課題	80%
小テスト		0%
試験		0%
実習・学外学修活動		0%
その他	質疑、コメントペーパー等を通じての授業参加態度	20%

授業計画

授業回	内容
1.	第1回 言語学と日本語学 予習(120分):日本語学とはどのような学問かを自分なりに調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
2.	第2回 言語の恣意性 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
3.	第3回 世界の中の日本語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
4.	第4回 日本語の音声・音韻(1):単音と音素 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
5.	第5回 日本語の音声・音韻(2):音節と拍 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
6.	第6回 日本語の音声・音韻(3):アクセント 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
7.	第7回 形態論:活用体系と揺れ 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
8.	第8回 統語論:構成素構造 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
9.	第9回 意味論:文と名詞の意味 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
10.	第10回 語用論:発話の推意 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
11.	第11回 文法論:文法範疇 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
12.	第12回 語彙論:語彙の体系 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
13.	第13回 文字論:漢字と仮名 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
14.	第14回 社会言語学:方言と言語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。

留意事項																																																								
教科書 (購入必要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		2.	著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		3.	出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		5.	著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者	
1.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社		ISBN(13桁)																																																					
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
2.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
3.	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
5.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
参考図書 (任意購入)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td>新ここからはじまる日本語学</td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td>伊坂淳一</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ひつじ書房</td> </tr> <tr> <td>ISBN(13桁)</td> <td>978-4894767102</td> </tr> <tr> <td>その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名	新ここからはじまる日本語学	著者	伊坂淳一	出版社	ひつじ書房	ISBN(13桁)	978-4894767102	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)		2.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		3.	著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		4.	出版社	ISBN(13桁)	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	5.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名	
1.	書籍名		新ここからはじまる日本語学																																																					
	著者		伊坂淳一																																																					
	出版社		ひつじ書房																																																					
	ISBN(13桁)		978-4894767102																																																					
	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
2.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
3.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
4.	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
5.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
その他 (配布教材等により購入不要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td>毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。</td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																													
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。																																																					
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他、参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名		URL		その他、参考URLに関する履修学生への連絡事項		webサイト名		URL																																													
1.	webサイト名																																																							
	URL																																																							
	その他、参考URLに関する履修学生への連絡事項																																																							
	webサイト名																																																							
	URL																																																							

参考URL	2.	URL 参考URLに 関する履修 学生への連 webサイト名	
	3.	URL 参考URLに 関する履修 学生への連 webサイト名	
	4.	URL 参考URLに 関する履修 学生への連 webサイト名	
	5.	URL 参考URLに 関する履修 学生への連	
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	実践的教育を行う授業科目の種別		対象
	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		
	授業内容との関連性		
	c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的		
備考			

年度	2024
講義名	日本語学概論 I [2/2]
担当教員	三好 伸芳
開講期・曜日・時限・教室	後期 木曜日 3時限 武蔵野 1101
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	1年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	この授業では、日本語学において扱われる基礎的な概念を参照しながら、日本語がどのような特徴を持つ言語で、どのような研究方法があるのかといった点について学ぶ。言語の普遍的な性質と世界における日本語の位置づけについて説明したうえで、言語学で問題にされる諸分野を取り上げ、言語および日本語を分析的に捉える感覚を身につける。
------	---

知識・専門性の到達目標	日本語の成り立ちや日本語の特徴の概要を理解している。【教養・基礎力】
関心・態度・人格の到達目標	
思考力・判断力の到達目標	日本語学を学ぶことにより、日本の歴史や社会と日本語との関係性を学び、言語文化のあり方を主体的に考えることができる思考力を身に付ける。【ことばの力】
交感力・発信力の到達目標	日本語の特徴を理解し説明することが出来る。【表現力】

「響学スパイラル」取り組み方法	本科目では、日常的に接している日本語を言語学的な観点から問い直し、日本語の特徴および日本語学における問題意識を取り上げる。そのため、「問う」、「考動する」という「響学スパイラル」の学びを実践していくことになる。
-----------------	---

授業における「アクティブな知」の要素	授業形態		対象
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり		—
	B: 課題解決型学習(PBL)連携なし		—
	C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		○
	D: 討議(ディスカッション、ディベート等)		—
	E: グループワーク		—
	F: 発表(プレゼンテーション)		—
	G: 実習、フィールドワーク		—
	H: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)		○
	I: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、タブレット、スマートフォン等)		○
	J: 講義のみ		○
	K: その他		—

授業における「ICTの活用」について	授業形態		対象
	A: ノートPC必携		—
	B: 講義資料や授業教材のオンライン配信		○
	C: レポート課題等のオンライン提出		○
	D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)		○
	E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)		—
	F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用		—
	G: その他		—

予習(事前学修)	各授業	授業テーマについて自分なりに調べてくる。
	[120]分	

復習(事後学修)	各授業	毎回課される授業課題に取り組んで提出する。
	[120]分	

成績評価	評価項目	評価項目の詳細内容	割合
	課題提出(レポート)	毎回の提出課題	80%
	小テスト		0%
	試験		0%
	実習・学外学修活動		0%

その他	質疑、コメントペーパー等を通じての授業参加態度	20	%
-----	-------------------------	----	---

授業計画

授業回	内容
1.	第1回 言語学と日本語学 予習(120分):日本語学とはどのような学問かを自分なりに調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
2.	第2回 言語の恣意性 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
3.	第3回 世界の中の日本語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
4.	第4回 日本語の音声・音韻(1):単音と音素 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
5.	第5回 日本語の音声・音韻(2):音節と拍 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
6.	第6回 日本語の音声・音韻(3):アクセント 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
7.	第7回 形態論:活用体系と揺れ 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
8.	第8回 統語論:構成素構造 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
9.	第9回 意味論:文と名詞の意味 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
10.	第10回 語用論:発話の推意 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
11.	第11回 文法論:文法範疇 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
12.	第12回 語彙論:語彙の体系 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
13.	第13回 文字論:漢字と仮名 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
14.	第14回 社会言語学:方言と言語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。



	5. 配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																														
参考URL	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項		2.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項		3.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項		4.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項		5.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項		
1.	webサイト名																																														
	URL																																														
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																														
2.	webサイト名																																														
	URL																																														
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																														
3.	webサイト名																																														
	URL																																														
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																														
4.	webサイト名																																														
	URL																																														
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																														
5.	webサイト名																																														
	URL																																														
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																														
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実践的教育を行う授業科目の種別</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">授業内容との関連性</td> </tr> <tr> <td>b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">授業内容との関連性</td> </tr> <tr> <td>c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実践的教育を行う授業科目の種別		対象	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)			授業内容との関連性			b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等			授業内容との関連性			c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的																														
実践的教育を行う授業科目の種別		対象																																													
a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)																																															
授業内容との関連性																																															
b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等																																															
授業内容との関連性																																															
c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的																																															
備考																																															



年度	2024
講義名	日本文学特講Ⅱ(平安時代の作家と作品)
担当教員	室田 知香
開講期・曜日・時限・教室	前期 火曜日 2時限 武蔵野1202
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	1年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	平安時代の女性の生き方、恋や結婚のあり方の概要を学び、具体的な平安文学作品の諸例を原文で読み味わう。今期は女歌、女房たちの恋、といった問題から入り、その後、『和泉式部日記』を講読する予定。この作品の魅力を受講者各自が本文(原文)に即して理解し説明できるようになることを目指す。具体的な場面場面を味読することを重視したい。
------	--

知識・専門性の到達目標	平安文学作品をこまやかに読み解こうとする姿勢を身につけ、具体的な本文(原文)に即して作品に関する考察を示すことができる。【専門性】
関心・態度・人格の到達目標	平安文学作品の具体的な本文(原文)に即して研究課題を見つけようとする姿勢を身につけている。【課題発見力】
思考力・判断力の到達目標	確かな資料に基づいて平安文学作品の考察を進めることができる。【情報分析力・論理的思考力】
交感力・発信力の到達目標	

「響学スパイラル」取り組み方法	文学作品を読み解いていこうとする際に生じたさまざまな疑問や関心について、各自で講読の中で消化したり育てていたりしてください。授業では一通りの読み方を示すことになるかと思いますが、疑問のある箇所などは各自でさらに考えてみましょう。
-----------------	--

授業における「アクティブな知」の要素	授業形態	対象
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-
	B: 課題解決型学習(PBL)連携なし	-
	C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	-
	D: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-
	E: グループワーク	-
	F: 発表(プレゼンテーション)	-
	G: 実習、フィールドワーク	-
	H: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○
	I: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、タブレット、スマートフォン等)	-
	J: 講義のみ	-
	K: その他	-

授業における「ICTの活用」について	授業形態	対象
	A: ノートPC必携	-
	B: 講義資料や授業教材のオンライン配信	-
	C: レポート課題等のオンライン提出	-
	D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)	-
	E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)	-
	F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用	-
	G: その他	-

予習(事前学修)	各授業	授業の前には、前回までに読んだ内容、これまでのあらすじなどを思い出し、作品の世界に浸れるよう頭を整理しておきましょう。宿題が出たときはその宿題に取り組んでおいてください。
	[ 60 ]分	

復習(事後学修)	各授業	授業のノートやプリントを見返して、作品本文を読み直しましょう。毎回でなくても、ある程度進んだら通して読む、ということでもよいでしょう。授業内ではどうしても作品をとぎれとぎれに扱うことになるので、ある程度の部分を「通して読む」機会を授業外学修においては大事にしてください。
	[ 180 ]分	

成績評価	評価項目	評価項目の詳細内容	割合
	課題提出(レポート)	・学期末課題(レポート)	80%
	小テスト		0%
	試験		0%

実習・学外学修活動		0	%
その他	・中間課題 ・毎回の授業の取り組み姿勢	20	%

授業計画

授業回	内容
1.	<p>イントロダクション 平安時代の女性たちの恋と結婚のあり方①——平安女性の二つの生き方について。</p> <p>【予習】「平安時代」の「前期」「中期」「後期」とはいつ頃のどのような時代であるか、高校の日本史の教科書や国語便覧等で確認しておく。前後の時代と平安時代の差なども確認しておく。 【復習】授業で読んだ作品本文を読み直す。授業を通して関心を持ったことについて、図書館に行き調べる。授業で読んだ箇所前後も含めて作品本文を読んでみる。</p>
2.	<p>平安時代の女性の恋と結婚のあり方②——恋のなれそめについて。</p> <p>【予習】前回のノートを見、学んだことを思い出しておく。前回読んだ箇所の内容を思い出しておく。 【復習】授業で読んだ作品本文を読み直す。授業を通して関心を持ったことについて、図書館に行き調べる。授業で読んだ箇所前後も含めて作品本文を読んでみる。</p>
3.	<p>平安時代の女性の恋と結婚のあり方③——平安中期の婚姻のさまざまなかたちについて。</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
4.	<p>平安時代の女性の恋と結婚のあり方④——女性たちの詠む恋歌のあり方について。</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
5.	<p>『和泉式部日記』を読む1 この回以降、具体的には以下の内容を扱う。 ・作品冒頭における帥の宮と女の関係 ・帥の宮と女の関係の変化 ・恋歌の役割 など</p>
6.	<p>『和泉式部日記』を読む2 【予習】同上 【復習】同上</p>
7.	<p>『和泉式部日記』を読む3 【予習】同上 【復習】同上</p>
8.	<p>『和泉式部日記』を読む4 【予習】同上 【復習】同上</p>
9.	<p>『和泉式部日記』を読む5 【予習】同上 【復習】同上</p>
10.	<p>『和泉式部日記』を読む6 【予習】同上 【復習】同上</p>
11.	<p>『和泉式部日記』を読む7 【予習】同上 【復習】同上</p>
12.	<p>『和泉式部日記』を読む8 【予習】同上 【復習】同上</p>
13.	<p>『和泉式部日記』を読む9 【予習】同上 【復習】同上</p>
	まとめ

	14.																																																							
留意事項	受講者の進度等により、授業計画を多少変更することがある。 上記にない宿題や中間課題が入ることがある。																																																							
教科書 (購入必要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		2.	著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		3.	出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		5.	著者		出版社	ISBN(13桁)	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		書籍名		著者	
1.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社		ISBN(13桁)																																																					
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
2.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
3.	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
5.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
参考図書 (任意購入)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	参考図書に関する履修学生への連絡事項		書籍名		2.	著者		出版社	ISBN(13桁)	参考図書に関する履修学生への連絡事項		書籍名		著者		3.	出版社	ISBN(13桁)	参考図書に関する履修学生への連絡事項		書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	参考図書に関する履修学生への連絡事項		書籍名		5.	著者		出版社	ISBN(13桁)	参考図書に関する履修学生への連絡事項		書籍名		著者	
1.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社		ISBN(13桁)																																																					
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																							
	書籍名																																																							
2.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
3.	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																							
	書籍名																																																							
5.	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																							
	書籍名																																																							
	著者																																																							
その他 (配布教材等により購入不要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td>適宜プリントを配布する。(ただし、学期末課題においては課題に関わる本文を各自入手する必要がある可能性があるが、詳細は授業内で説明する。)</td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	適宜プリントを配布する。(ただし、学期末課題においては課題に関わる本文を各自入手する必要がある可能性があるが、詳細は授業内で説明する。)	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項		配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																													
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		適宜プリントを配布する。(ただし、学期末課題においては課題に関わる本文を各自入手する必要がある可能性があるが、詳細は授業内で説明する。)																																																					
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							

参考URL	webサイト名		
	1. URL		
	参考URLに関する履修学生への連絡		
	webサイト名		
	2. URL		
	参考URLに関する履修学生への連絡		
webサイト名			
3. URL			
参考URLに関する履修学生への連絡			
webサイト名			
4. URL			
参考URLに関する履修学生への連絡			
webサイト名			
5. URL			
参考URLに関する履修学生への連絡			
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	実践的教育を行う授業科目の種別		対象
	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		
	授業内容との関連性		
c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的			
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古文学のプレゼミ・ゼミ受講者や受講希望者は本科目を履修しておくことが望ましい。</li> <li>・中古文学をテーマに卒業論文を書く可能性のある学生は、本科目を履修済みの場合もできるかぎり毎年聴講することが望ましい。</li> <li>・主として作品講読の形式によっておこなう授業である。古文をある程度読める力、古典文学作品の背景に関するある程度の知識が必要である。また、大学での授業の聞き方・ノートのとり方がある程度身につけていることも必要である。自信がない場合は他の基礎的な科目を履修した上で2年次以降に履修することを勧める。</li> <li>・学期末課題は授業内容を理解しただけでなくアウトプットの力が身についたかを見るものでもあるので時間をかけて取り組むこと。注意事項をよく理解して丁寧に取り組んでほしい。</li> </ul>		

年度	2024
講義名	日本文学研究Ⅱ(平安時代の文学と文化)[2/2]
担当教員	室田 知香
開講期・曜日・時限・教室	後期 木曜日 1時限 武蔵野7201
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	3年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	<p>平安時代に成立した文学作品ならびに平安時代を舞台として扱った文学作品をいくつか選び、それぞれの作品を読み解く際に必要となる背景知識等を体系的に確認しながら、講義を進める。平安時代及びそれ以降の時代の古典文学作品を読む上でなるべく応用し得る可能性の高い知識や読解力を身につけることを目指したい。</p> <p>特に、日本の古典文学の原文を読み味わえる力を伸ばしたい人、日本の古典文学で卒業論文を書きたい人、王朝文化の背景知識を修得しそれをいかして古典文学作品が読み解けるようになりたい人を主な対象とし、具体的には以下のような力を涵養することをねらいとする授業である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校レベル(にやや大学レベルを加味した程度)の文法事項を理解し、品詞分解に活用することができる。</li> <li>・官職制度、身分制度、建築、暦などの古典の基礎知識を身につけ、それらの知識を古典文学作品の読解に役立てることができる。</li> <li>・古文をただ現代語訳して終わりとするのではなく、物語の因果関係や登場人物の思考・心情のあり方に留意しながら、作品の内容を深く読み込みようとする姿勢を身につける。</li> </ul> <p>以上により、受講者各自が今後、注釈書を片手に自力で古典文学作品原文の魅力を味わい、読解の経験を積んでいくことができるような基礎力を養う。卒業論文執筆時の古典文学作品読解力だけでなく、大学卒業後生涯に渡っての古典文学を対象とした読書の充実を図る。</p>																																						
知識・専門性の到達目標	平安文学作品をこまやかに読み解こうとする姿勢を身につけ、具体的な本文(原文)に即して問題を立ち上げ、また、作品に関する考察を示すことができる。【専門性】 平安時代の文学と文化の関わりを考察することができる。【専門性】																																						
関心・態度・人格の到達目標	平安文学作品の具体的な本文(原文)や確かな資料に即して研究課題をみつつけようとする姿勢を身につけている。【課題発見力】																																						
思考力・判断力の到達目標	確かな資料に基づいて平安時代の文学や文化についての考察を進めることができる。【情報分析力・論理的思考力】																																						
交感力・発信力の到達目標	確かな資料に基づいて論理的に分かりやすく自分の考えを説明することができる。【論理的表現力】																																						
「響学スパイラル」取り組み方法	<p>文学作品を読み解いていこうとする際に生じたさまざまな疑問や関心について、各自で講義の中で消化したり育てていったりしてください。授業では一通りの読み方を示すことになるかと思いますが、疑問のある箇所などは各自でさらに考えてみましょう。</p>																																						
授業における「アクティブな知」の要素	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">授業形態</th><th>対象</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>B: 課題解決型学習(PBL)連携なし</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>D: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>E: グループワーク</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>F: 発表(プレゼンテーション)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>G: 実習、フィールドワーク</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>J: 講義のみ</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>K: その他</td><td></td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	授業形態		対象	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり		-	B: 課題解決型学習(PBL)連携なし		-	C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		-	D: 討議(ディスカッション、ディベート等)		-	E: グループワーク		-	F: 発表(プレゼンテーション)		-	G: 実習、フィールドワーク		-	H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)		○	I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)		-	J: 講義のみ		-	K: その他		-		
授業形態		対象																																					
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり		-																																					
B: 課題解決型学習(PBL)連携なし		-																																					
C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		-																																					
D: 討議(ディスカッション、ディベート等)		-																																					
E: グループワーク		-																																					
F: 発表(プレゼンテーション)		-																																					
G: 実習、フィールドワーク		-																																					
H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)		○																																					
I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)		-																																					
J: 講義のみ		-																																					
K: その他		-																																					
授業における「ICTの活用」について	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">授業形態</th><th>対象</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A: ノートPC必携</td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td>B: 講義資料や授業教材のオンライン配信</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>C: レポート課題等のオンライン提出</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用</td><td></td><td>-</td></tr> <tr><td>G: その他</td><td>授業内テストをGoogleフォームによっておこなう可能性がある。</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	授業形態		対象	A: ノートPC必携		○	B: 講義資料や授業教材のオンライン配信		-	C: レポート課題等のオンライン提出		-	D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)		-	E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)		-	F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用		-	G: その他	授業内テストをGoogleフォームによっておこなう可能性がある。	○														
授業形態		対象																																					
A: ノートPC必携		○																																					
B: 講義資料や授業教材のオンライン配信		-																																					
C: レポート課題等のオンライン提出		-																																					
D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)		-																																					
E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)		-																																					
F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用		-																																					
G: その他	授業内テストをGoogleフォームによっておこなう可能性がある。	○																																					
予習(事前学修)	<table border="1"> <thead> <tr><th>各授業</th><th>単語プリントの単語は最低限調べた上で各回の授業にのぞむこと。また、出された宿題をしておくこと。</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>[120]分</td><td></td></tr> </tbody> </table>	各授業	単語プリントの単語は最低限調べた上で各回の授業にのぞむこと。また、出された宿題をしておくこと。	[120]分																																			
各授業	単語プリントの単語は最低限調べた上で各回の授業にのぞむこと。また、出された宿題をしておくこと。																																						
[120]分																																							
復習(事後学修)	<table border="1"> <thead> <tr><th>各授業</th><th>授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>[120]分</td><td></td></tr> </tbody> </table>	各授業	授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。	[120]分																																			
各授業	授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。																																						
[120]分																																							
	<table border="1"> <thead> <tr><th>評価項目</th><th>評価項目の詳細内容</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	評価項目	評価項目の詳細内容	割合																																			
評価項目	評価項目の詳細内容	割合																																					

成績評価	課題提出(レポート)		0	%
	小テスト	授業内テスト	20	%
	試験	学期末テスト	70	%
	実習・学外学修活動		0	%
	その他	毎回の授業への取り組み姿勢等	10	%

授業回	内容
1.	<p>イントロダクション(1)と古文基礎知識テスト</p> <p>・古文基礎知識テスト——干支、時刻の表現、方角の表現、月の異名と古典文学における各月の季節など</p> <p>【予習】古文基礎知識テストの出題範囲は、干支、古文における時刻の表現の仕方、方角の表現の仕方、月の異名と各月の季節などを予定。受講前に確認しておくこと。 【復習】授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。</p>
2.	<p>イントロダクション(2)と古典文法総復習テスト</p> <p>・古典文学の四季観、「春」のイメージ、数え年 ・文法ウォーミングアップ(『百人一首』のたご歌) ・古典文法総復習テスト</p> <p>【予習】古典文法総復習テストの出題範囲は、高校で学習する古典文法全般とするので、しっかり復習しておくこと。宿題が出た場合は宿題をしておくこと。 【復習】授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。</p>
3.	<p>『源氏物語』少女巻を読む1</p> <p>・少女巻を読む。光源氏の教育論と夕霧の六位始発の意義を読み解く。 ・以降、平安時代の文化・慣習に関して、また文法事項について、特に以下のことを確認しながら、作品を読み解く。 ・元服とは ・男性官人の身分、官位相当制、(皇族の身分、)装束のことなど ・平安中期の教育・学問 ・接続助詞について</p> <p>【予習】単語プリントの単語は最低限調べた上で各回の授業にのぞむこと。 【復習】授業のノートを見返し、知識の定着を図ること。また、授業で扱った文学作品(原文)を読み返し、語学的な面にも配慮しながら、内容の理解に努めること。</p>
4.	<p>『源氏物語』少女巻を読む2</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
5.	<p>『源氏物語』少女巻を読む3</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
6.	<p>『源氏物語』少女巻を読む4</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
7.	<p>『源氏物語』少女巻を読む5</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
8.	<p>『源氏物語』少女巻を読む6</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
9.	<p>『平家物語』巻六を読む1</p> <p>・「葵前」を読む。 ・以降、平安時代の文化・慣習に関して、また文法事項について、特に以下のことを確認しながら、作品を読み解く。 ・後宮女性の身分 ・月の運行と日にち及び時刻の表現 ・王朝の建築空間 ・敬語について</p> <p>【予習】同上 【復習】同上</p>
10.	<p>『平家物語』巻六を読む2</p> <p>・「葵前」を読む。</p>

	10.	【予習】同上 【復習】同上
	11.	『平家物語』巻六を読む3 ・「葵前」を読む。 【予習】同上 【復習】同上
	12.	『平家物語』巻六を読む4 ・「小督」を読む。 【予習】同上 【復習】同上
	13.	『平家物語』巻六を読む5 ・「小督」を読む。 【予習】同上 【復習】今学期の本科目の授業の内容を総復習すること。
	14.	『平家物語』巻六を読む6、学期末試験、まとめ ・「小督」を読む。 ・学期末試験。 【予習】同上 【復習】今学期の本科目の授業の内容を総復習すること。

留意事項	受講者の人数や進度等によって多少の変更をする可能性がある。
------	-------------------------------

教科書 (購入必要)	1.	書籍名	
		著者	
	出版社	ISBN(13桁)	
	ての世、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		
	2.	書籍名	
		著者	
	出版社	ISBN(13桁)	
	ての世、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		
	3.	書籍名	
		著者	
	出版社	ISBN(13桁)	
	ての世、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		
	4.	書籍名	
		著者	
	出版社	ISBN(13桁)	
	ての世、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		
	5.	書籍名	
		著者	
	出版社	ISBN(13桁)	
	ての世、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		

1.	書籍名	
	著者	
出版社	ISBN(13桁)	
参考図書に関する履修学生への連絡事項		
2.	書籍名	
	著者	
出版社	ISBN(13桁)	
参考図書に関する履修学生への連絡事項		
書籍名		

<p>参考図書 (任意購入)</p>	<table border="1"> <tr> <td>3.</td> <td>著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> </table>	3.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)	4.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)	5.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)						
3.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)														
4.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)														
5.	著者 出版社 参考図書に関する履修学生への連 書籍名	ISBN(13桁)														
<p>その他 (配布教材等により購入不 要)</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td>適宜プリントを配布する。</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	適宜プリントを配布する。	2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	適宜プリントを配布する。														
2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項															
3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項															
4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項															
5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項															
<p>参考URL</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連		2.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連		3.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連		4.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連		5.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連	
1.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連															
2.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連															
3.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連															
4.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連															
5.	webサイト名 URL 参考URLに関する履修学生への連															
<p>実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実践的教育を行う授業科目の種別</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業内容との関連性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業内容との関連性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実践的教育を行う授業科目の種別	対象	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		授業内容との関連性		b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		授業内容との関連性		c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的				
実践的教育を行う授業科目の種別	対象															
a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)																
授業内容との関連性																
b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等																
授業内容との関連性																
c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的																
	<p>・中文学のゼミ受講者は3年次に履修することが望ましい。</p>															



備考

- ・毎回の予習・復習の負担はかなり重い科目です。授業で提示される宿題のほか、新しい講読作品の予習を自主的に行なうこと。
- ・古典文学作品を自力で読み解くためにはやはり、語学力が必要です。そのためには品詞分解がきちんとできる力を身につける必要がありますが、この授業内では個々の文法事項の復習を体系的に行なう時間はないので、文法が覚えきれていない人は、高校時の教科書・参考書・問題集などを出してきてみましょう。文法を自主的に復習し、ほぼ100パーセントの確実な習得を目指すようにしてください。
- ・各種テストをGoogleフォームなどによっておこなうときがあります。その回はノートパソコンをかならず持参してください。

年度	2024
講義名	日本文学研究Ⅶ(近代・現代の文学と人生)
担当教員	掛野 剛史
開講期・曜日・時限・教室	前期 火曜日 2時限 武蔵野 1103
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	3年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	近代作家の小説作品を自筆資料(原稿・書簡・メモ等)から考察する道筋を探す。 「蜘蛛の糸」や「羅生門」など、比較的知られた小説を作家の原稿から受講者自身が実際に読んでいき、そこから作品の新しい読みの可能性を見出していく。
------	--

知識・専門性の到達目標	近代・現代の文学者とその時代を知り、作品読解を通じて他者の人生を学び、自己の人生を幅広い視野からみつめなおすことができるようになる。【教養・専門性】
関心・態度・人格の到達目標	自身の読解と他人の読解の相違点や共通点を知ることにより相対的認識力を養い、そのうえで主体性の獲得を目指せるようになる。【自己認識力・他者理解力・主体性・人格形成】
思考力・判断力の到達目標	
交感力・発信力の到達目標	

「響学スパイラル」取り組み方法	【問う】自筆資料を読み、その特徴やその問題点などを考える。 【考動する】自筆資料について考えた問題点を、自らの考察と対照させながら授業を聞き、さらに考察を深める。 【カタチにする】毎回の授業内容について、授業後に文章にまとめて提出する。 【見つめ直す】前回の内容について、授業内での整理を聞きながら、自らの考察を振り返る。
-----------------	--

授業における「アクティブな知」の要素	授業形態	対象
	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-
	B: 課題解決型学習(PBL)連携なし	-
	C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	-
	D: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-
	E: グループワーク	○
	F: 発表(プレゼンテーション)	-
	G: 実習、フィールドワーク	○
	H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)	○
	I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)	-
	J: 講義のみ	-
	K: その他	-

授業における「ICTの活用」について	授業形態	対象
	A: ノートPC必携	○
	B: 講義資料や授業教材のオンライン配信	○
	C: レポート課題等のオンライン提出	○
	D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用 (学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)	○
	E: オンラインメディアの活用 (e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)	-
	F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用	-
	G: その他	-

予習 (事前学修)	各授業	授業で取り上げる作品や資料について読んでおき、関連資料について調べておく。
	[平均40]分	

復習 (事後学修)	各授業	授業内容を整理し、レポートに備える。
	[平均20]分	

成績評価	評価項目	評価項目の詳細内容	割合
	課題提出(レポート)		50%
	小テスト		0%
	試験		0%

実習・学外学修活動		0	%
その他	授業内での課題	50	%

授業計画

授業回	内容
1.	宮沢賢治「雨ニモ負ケズ」ノートについて 予習(120分)＝関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
2.	夏目漱石「坊つちやん」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
3.	芥川龍之介「続西方の人」「或旧友へ送る手記」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
4.	芥川龍之介「続西方の人」「或旧友へ送る手記」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
5.	芥川龍之介「羅生門」草稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
6.	芥川龍之介「羅生門」草稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
7.	芥川龍之介「蜘蛛の糸」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
8.	芥川龍之介「蜘蛛の糸」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
9.	芥川龍之介「邪宗門」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
10.	芥川龍之介「邪宗門」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
11.	夏目漱石「道草」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
12.	夏目漱石「道草」草稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
13.	横光利一「寝園」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく
14.	横光利一「悪魔」「時間」原稿について 予習(120分)＝前回までの授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく 復習(120分)＝授業内容を振り返り、関連資料を図書館等で調査し、読んでおく

<p>留意事項</p>	<p>受講者数にもよるが、受講者が主体的に動き考える、参加型演習形式の授業にする予定。したがって積極的な授業参加の姿勢が求められる。そのつもりで受講してほしい。 ただ受講者数が多ければ、講義の比重が高くなることをご了承ください。</p>																																																																					
<p>教科書 (購入必要)</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		2.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		3.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		4.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)		5.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
1.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																																					
2.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																																					
3.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																																					
4.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																																					
5.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																																					
<p>参考図書 (任意購入)</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>書籍名</td> <td>小説は書き直される—創作のバックヤード</td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td>日本近代文学館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>秀明大学出版会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ISBN(13桁)</td> <td>9784915855344</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>書籍名</td> <td>水上勉の時代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td>大木志門・掛野剛史・高橋孝次編</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>田畑書店</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ISBN(13桁)</td> <td>9784803803600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>書籍名</td> <td>近代文学 草稿・原稿研究事典</td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td>日本近代文学館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>八木書店</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ISBN(13桁)</td> <td>9784840696906</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考図書に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名	小説は書き直される—創作のバックヤード		著者	日本近代文学館		出版社	秀明大学出版会		ISBN(13桁)	9784915855344		参考図書に関する履修学生への連絡事項		2.	書籍名	水上勉の時代		著者	大木志門・掛野剛史・高橋孝次編		出版社	田畑書店		ISBN(13桁)	9784803803600		参考図書に関する履修学生への連絡事項		3.	書籍名	近代文学 草稿・原稿研究事典		著者	日本近代文学館		出版社	八木書店		ISBN(13桁)	9784840696906		参考図書に関する履修学生への連絡事項		4.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		参考図書に関する履修学生への連絡事項		5.	書籍名			著者			出版社	ISBN(13桁)		参考図書に関する履修学生への連絡事項	
1.	書籍名	小説は書き直される—創作のバックヤード																																																																				
	著者	日本近代文学館																																																																				
	出版社	秀明大学出版会																																																																				
	ISBN(13桁)	9784915855344																																																																				
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																																					
2.	書籍名	水上勉の時代																																																																				
	著者	大木志門・掛野剛史・高橋孝次編																																																																				
	出版社	田畑書店																																																																				
	ISBN(13桁)	9784803803600																																																																				
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																																					
3.	書籍名	近代文学 草稿・原稿研究事典																																																																				
	著者	日本近代文学館																																																																				
	出版社	八木書店																																																																				
	ISBN(13桁)	9784840696906																																																																				
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																																					
4.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																																					
5.	書籍名																																																																					
	著者																																																																					
	出版社	ISBN(13桁)																																																																				
	参考図書に関する履修学生への連絡事項																																																																					
<p>その他 (配布教材等により購入不要)</p>	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																																					
2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																																					
3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																																					
4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																																					
5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																																					
	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修学生への連絡事項																																																													
1.	webサイト名																																																																					
	URL																																																																					
	参考URLに関する履修学生への連絡事項																																																																					

参考URL	webサイト名			
	URL			
	2. 参考URLに関する履修学生への連絡			
	webサイト名			
	URL			
3.	URL			
	参考URLに関する履修学生への連絡			
	webサイト名			
	URL			
	参考URLに関する履修学生への連絡			
4.	webサイト名			
	URL			
	参考URLに関する履修学生への連絡			
	webサイト名			
	URL			
5.	参考URLに関する履修学生への連絡			
	webサイト名			
	URL			
	参考URLに関する履修学生への連絡			
	webサイト名			
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	実践的教育を行う授業科目の種別		対象	
	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		-	
	授業内容との関連性			
	b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		-	
	授業内容との関連性			
	c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的		-	
	授業内容との関連性			
	備考			

年度	2024
講義名	日本語学特講(古代の日本語)
担当教員	三好 伸芳
開講期・曜日・時限・教室	後期 木曜日 5時限 武蔵野 1201
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	2年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	この授業では、古代日本語の変遷を辿りながら、歴史的日本語がどのような体系を有していたのかという点について学ぶ。古代日本語には、現代日本語において失われた独自の特徴が観察され、歴史的に同一の日本語であっても直感的な理解が困難である。現代日本語との対照言語学的観点に十分留意しつつ、古代語においてどのような言語変化が生じたのかを受講者自身で説明できるようになることを目指す。
------	---

知識・専門性の到達目標	日本語の使用者として知っておかなければならない日本語に関する知識を習得し、日本の言語文化の特徴を理解している。【教養・基礎力】
関心・態度・人格の到達目標	
思考力・判断力の到達目標	日本語学を学ぶことにより、日本の歴史や社会と日本語との関係性を学び、言語文化のあり方を主体的に考えることができる思考力を身に付ける。【ことばの力】
交感力・発信力の到達目標	日本語の特質を適切なことばで説明することができる。【表現力】

「響学スパイラル」取り組み方法	本科目では、古代日本語の変遷を辿ることで、日常的に接する現代日本語からは十分に理解できない日本語の側面や、歴史的日本語に見られる独自の言語的特徴について論じる。そのため、「問う」、「考動する」という「響学スパイラル」の学びを実践していくことになる。
-----------------	--

授業形態	対象
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	—
B: 課題解決型学習(PBL)連携なし	—
C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	○
D: 討議(ディスカッション、ディベート等)	—
E: グループワーク	—
F: 発表(プレゼンテーション)	—
G: 実習、フィールドワーク	—
H: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	○
I: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、タブレット、スマートフォン等)	○
J: 講義のみ	○
K: その他	—

授業形態	対象
A: ノートPC必携	—
B: 講義資料や授業教材のオンライン配信	○
C: レポート課題等のオンライン提出	○
D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)	○
E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)	—
F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用	—
G: その他	—

予習(事前学修)	各授業 [120]分 授業テーマについて自分なりに調べてくる。
----------	---------------------------------

復習(事後学修)	各授業 [120]分 毎回課される授業課題に取り組んで提出する。
----------	----------------------------------

評価項目	評価項目の詳細内容	割合
課題提出(レポート)	毎回の提出課題	80%
小テスト		0%
試験		0%
実習・学外学修活動		0%

その他	質疑、コメントペーパー等を通じての授業参加態度	20	%
-----	-------------------------	----	---

授業計画

授業回	内容
1.	第1回 日本語史における古代語 予習(120分):「古代語」について自分なりに調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
2.	第2回 上代の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
3.	第3回 上代の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
4.	第4回 上代の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
5.	第5回 中古の音韻・表記(1):音韻体系と変遷 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
6.	第6回 中古の音韻・表記(2):仮名の成立 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
7.	第7回 中古の語彙(1):和文語と漢文訓読語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
8.	第8回 中古の語彙(2):和語と漢語 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
9.	第9回 中古の文法(1):係り結び 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
10.	第10回 中古の文法(2):準体句 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
11.	第11回 中世前期の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
12.	第12回 中世前期の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
13.	第13回 中世前期の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。
14.	第14回 古代語から近代語へ 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組みで提出する。

留意事項																																																								
教科書 (購入必要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)				2.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)				3.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)				4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)				5.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)			
1.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社		ISBN(13桁)																																																					
	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)																																																							
2.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)																																																							
3.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)																																																							
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)																																																							
5.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生書店への連絡事項(非公)																																																							
参考図書 (任意購入)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">1.</td> <td>書籍名</td> <td>新訂 日本語の歴史</td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td>近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> </table>	1.	書籍名	新訂 日本語の歴史	著者	近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己	出版社	放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474	2.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	3.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	5.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)																				
1.	書籍名		新訂 日本語の歴史																																																					
	著者		近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己																																																					
	出版社	放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474																																																						
2.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
3.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
5.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
その他 (配布教材等により購入不要)	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td>毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。	2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																									
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。																																																						
2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>備考URLに関する履修</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名			URL			備考URLに関する履修																																															
1.	webサイト名																																																							
	URL																																																							
	備考URLに関する履修																																																							



参考URL	1. URL 参考URLに関する履修学生への連 webサイト名		
	2. URL 参考URLに関する履修学生への連 webサイト名		
	3. URL 参考URLに関する履修学生への連 webサイト名		
	4. URL 参考URLに関する履修学生への連 webサイト名		
	5. URL 参考URLに関する履修学生への連 webサイト名		
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	実践的教育を行う授業科目の種別		対象
	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		
	授業内容との関連性		
	b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		
	授業内容との関連性		
	c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的		
備考			

年度	2024
講義名	日本語学研究(近代の日本語)
担当教員	三好 伸芳
開講期・曜日・時限・教室	前期 木曜日 4時限 武蔵野1201
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	3年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	この授業では、近代日本語の変遷を辿りながら、歴史的日本語がどのような体系を有していたのかという点について学ぶ。近代日本語は、現代日本語と地続きのものであり、現在の日本語の体系が形成された過程を知るうえで重要である。現代日本語との対照言語学的観点にも十分留意しつつ、どのような動機で言語変化が生じたのかを受講者自身で説明できるようになることを目指す。
------	--

知識・専門性の到達目標	日本語の使用者として知っておかなければならない日本語に関する知識を習得し、日本の言語文化の特徴を理解している。【教養・基礎力】
関心・態度・人格の到達目標	
思考力・判断力の到達目標	日本語学を学ぶことにより、日本の歴史や社会と日本語との関係性を学び、言語文化のあり方を主体的に考えることができる思考力を身に付ける。【ことばの力】
交感力・発信力の到達目標	日本語の特質を適切なことばで説明することができる。【表現力】

「響学スパイラル」取り組み方法	本科目では、近代日本語の変遷を迎えることで、日常的に接する現代日本語がどのような過程を経て形成されたのかという点について、歴史的日本語と現代日本語との直接的な繋がりを論じる。そのため、「問う」、「考動する」という「響学スパイラル」の学びを実践していくことになる。
-----------------	---

授業形態		対象
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり		—
B: 課題解決型学習(PBL)連携なし		—
C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)		○
D: 討議(ディスカッション、ディベート等)		—
E: グループワーク		—
F: 発表(プレゼンテーション)		—
G: 実習、フィールドワーク		—
H: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)		○
I: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、タブレット、スマートフォン等)		○
J: 講義のみ		○
K: その他		—

授業形態		対象
A: ノートPC必携		—
B: 講義資料や授業教材のオンライン配信		○
C: レポート課題等のオンライン提出		○
D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)		○
E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)		—
F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用		—
G: その他		—

予習(事前学修)	各授業 [120]分 授業テーマについて自分なりに調べてくる。
----------	---------------------------------

復習(事後学修)	各授業 [120]分 毎回課される授業課題に取り組んで提出する。
----------	----------------------------------

成績評価	評価項目	評価項目の詳細内容	割合
	課題提出(レポート)	毎回の提出課題	80%
小テスト		0%	
試験		0%	
実習・学外学修活動		0%	

その他	質疑、コメントペーパー等を通じての授業参加態度	20	%
-----	-------------------------	----	---

授業計画

授業回	内容
1.	第1回 日本語史における近代語 予習(120分):「近代語」について自分なりに調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
2.	第2回 中世後期の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
3.	第3回 中世後期の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
4.	第4回 中世後期の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
5.	第5回 近世前期の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
6.	第6回 近世前期の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
7.	第7回 近世前期の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
8.	第8回 近世後期の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
9.	第9回 近世後期の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
10.	第10回 近世後期の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
11.	第11回 近代の音韻・表記 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
12.	第12回 近代の語彙 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
13.	第13回 近代の文法 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。
14.	第14回 近代語から現代語へ 予習(120分):提示された予習課題を調べてくる。 復習(120分):授業課題に取り組んで提出する。

留意事項																																																								
教科書 (購入必要)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">1.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">3.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td>この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)				2.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)				3.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)				4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)				5.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)			
1.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社		ISBN(13桁)																																																					
	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
2.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
3.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
5.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
	この他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)																																																							
参考図書 (任意購入)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">1.</td> <td>書籍名</td> <td>新訂 日本語の歴史</td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td>近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5.</td> <td>書籍名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>著者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>ISBN(13桁)</td> </tr> </table>	1.	書籍名	新訂 日本語の歴史	著者	近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己	出版社	放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474	2.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	3.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	4.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)	5.	書籍名		著者		出版社	ISBN(13桁)																				
1.	書籍名		新訂 日本語の歴史																																																					
	著者		近藤泰弘・月本雅幸・杉浦克己																																																					
	出版社	放送大学教育振興会 ISBN(13桁) 978-4595305474																																																						
2.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
3.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
4.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
5.	書籍名																																																							
	著者																																																							
	出版社	ISBN(13桁)																																																						
その他 (配布教材等により購入不要)	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td>毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。	2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																									
1.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項	毎回の授業時に資料を配布するため、教科書を購入する必要はありません。																																																						
2.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																																																							
	<table border="1"> <tr> <td>1.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>参考URLに関する履修</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名			URL			参考URLに関する履修																																															
1.	webサイト名																																																							
	URL																																																							
	参考URLに関する履修																																																							

参考URL	1.	URL	
	2.	URL	
	3.	URL	
	4.	URL	
	5.	URL	

  

実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	実践的教育を行う授業科目の種別		対象	
	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)			
	授業内容との関連性			
	b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等			
	授業内容との関連性			
	c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的			
	授業内容との関連性			

  

備考	
----	--

年度	2024
講義名	日本の演劇(古典芸能)
担当教員	三浦 裕子
開講期・曜日・時限・教室	前期 月曜日 4時限 武蔵野1202
開講キャンパス	武蔵野
開講学科	
開講学年	1年生
単位数	2
授業形態	講義
授業の実施形態	対面/Face-to-Face
使用言語	日本語

授業概要	<p>能楽(能・狂言)は室町時代(中世)に芸術的基礎を固めた古典芸能であり、人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊(くみおどり)は江戸時代(近世)に成立した古典芸能である。</p> <p>この四つのジャンルに共通していることは、音楽・舞踊・演劇が不可分に融合している総合芸術である点である。</p> <p>また、能楽は人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊に多大な影響を与え、人形浄瑠璃文楽と歌舞伎は同じ作品を共有しているなど、相互に深い関連を持っていることも言える。</p> <p>本授業では以下の四つの視点から日本の古典芸能へのアプローチを試みる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 古典芸能の歴史的な流れを概観し、能楽・人形浄瑠璃・歌舞伎・組踊などの古典芸能の特徴を学ぶ。</li> <li>2 蛇に変身した女性が男性を追いかけるというモチーフが、古代の歴史書『古事記』から現代のゲームまで、広く日本の芸能・文学などに見られる。このモチーフが能楽・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊などの古典芸能にどう描かれているかを、それぞれの作品の講読と鑑賞を通じて理解する。</li> <li>3 以上を踏まえて、総合的視野から日本の古典芸能を理解する。</li> <li>4 古典芸能の文化財としての価値を理解する。その方法として、古典芸能を未来に継承していく意味を検討し、自分自身の考えを深めていく。</li> </ol> <p>また、授業改善トライアルの一環として、以下を行う(日程は調整中)。</p> <p>第一線で活躍する舞踊家に、歌舞伎舞踊(娘道成寺)を踊っていただく。長唄と囃子という伴奏音楽も生演奏していただく。</p> <p>学生の皆さんには所化(修行中の僧)役で参加していただく。その準備として、所化の演技方法を舞踊家の先生から教わり、所化のセリフを創作する。</p> <p>上記のように実演家と皆さんとで(娘道成寺)の舞台を作り上げ、学生・舞踊家・演奏家・研究者・教員それぞれの立場から意見を述べ、日本の古典芸能の価値を検討する。</p>																								
知識・専門性の到達目標	日本の古典芸能(能・狂言・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊など)についての基本的知識を備えており、その特徴を把握している。【教養・基礎力】																								
関心・態度・人格の到達目標	日本の古典芸能の諸作品を、様々な文学・ジャンル・時代・地域・文化との関連から読み解き、分析することができる。【自己認識力・他者理解力】 日本の古典芸能の美を様々な観点から理解・鑑賞することができる。【主体性・実行力】																								
思考力・判断力の到達目標	作品についての的確に分析する方法の概要を理解している。【論理的思考力・判断力】																								
交感力・発信力の到達目標	日本の古典芸能について、自分の考えを発表し、議論する方法の概要を理解している。【表現力】																								
「響学スパイラル」取り組み方法	日本の古典芸能が描く世界を自分ごととしてとらえる感性を磨く。また、固定観念を超えて、古典芸能の美を理解する姿勢を身につけ、考える。その結果を発表し、他の学生とディスカッションを行う。この過程を経て他者を尊重することを学ぶ。また、他者の意見を聞いて、新たな問いを発見し、古典芸能への理解を深め、感性を磨く。以上のことを習慣化するよう努める。																								
授業における「アクティブな知」の要素	<table border="1"> <thead> <tr><th>授業形態</th><th>対象</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td><td>-</td></tr> <tr><td>B: 課題解決型学習(PBL)連携なし</td><td>○</td></tr> <tr><td>C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</td><td>-</td></tr> <tr><td>D: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td><td>○</td></tr> <tr><td>E: グループワーク</td><td>○</td></tr> <tr><td>F: 発表(プレゼンテーション)</td><td>○</td></tr> <tr><td>G: 実習、フィールドワーク</td><td>-</td></tr> <tr><td>H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)</td><td>-</td></tr> <tr><td>I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)</td><td>○</td></tr> <tr><td>J: 講義のみ</td><td>-</td></tr> <tr><td>K: その他</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	授業形態	対象	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-	B: 課題解決型学習(PBL)連携なし	○	C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	-	D: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○	E: グループワーク	○	F: 発表(プレゼンテーション)	○	G: 実習、フィールドワーク	-	H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)	-	I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)	○	J: 講義のみ	-	K: その他	-
授業形態	対象																								
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-																								
B: 課題解決型学習(PBL)連携なし	○																								
C: 反転授業(知識習得を授業外で行い、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	-																								
D: 討議(ディスカッション、ディベート等)	○																								
E: グループワーク	○																								
F: 発表(プレゼンテーション)	○																								
G: 実習、フィールドワーク	-																								
H: 双方向授業(ICT活用なし:対話型、リアクションペーパー等)	-																								
I: 双方向授業(ICT活用あり:クリッカー、タブレット、スマートフォン等)	○																								
J: 講義のみ	-																								
K: その他	-																								
授業における「ICTの活用」について	<table border="1"> <thead> <tr><th>授業形態</th><th>対象</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>A: ノートPC必携</td><td>○</td></tr> <tr><td>B: 講義資料や授業教材のオンライン配信</td><td>○</td></tr> <tr><td>C: レポート課題等のオンライン提出</td><td>○</td></tr> <tr><td>D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)</td><td>○</td></tr> <tr><td>E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)</td><td>○</td></tr> <tr><td>F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用</td><td>○</td></tr> <tr><td>G: その他 能・狂言を始めとする古典芸能の動画の活用</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	授業形態	対象	A: ノートPC必携	○	B: 講義資料や授業教材のオンライン配信	○	C: レポート課題等のオンライン提出	○	D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)	○	E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)	○	F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用	○	G: その他 能・狂言を始めとする古典芸能の動画の活用	○								
授業形態	対象																								
A: ノートPC必携	○																								
B: 講義資料や授業教材のオンライン配信	○																								
C: レポート課題等のオンライン提出	○																								
D: 質問やレポート課題等へのフィードバックにおける学修管理システムの活用(学修支援システム(Course Power)、Google Classroom、Teams等)	○																								
E: オンラインメディアの活用(e-Learning、edX、Coursera、JMOOC等のOpen Educational Resources)	○																								
F: Zoom、Google Meet等のミーティングツールの活用	○																								
G: その他 能・狂言を始めとする古典芸能の動画の活用	○																								
予習(事前学修)	<table border="1"> <thead> <tr><th>各授業</th><th>時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>[平均120]分</td><td>HPの閲覧、辞典類の講読などを通じて、日本の古典芸能の基礎知識や特徴を調べ、ノートに要約する。</td></tr> </tbody> </table>	各授業	時間	[平均120]分	HPの閲覧、辞典類の講読などを通じて、日本の古典芸能の基礎知識や特徴を調べ、ノートに要約する。																				
各授業	時間																								
[平均120]分	HPの閲覧、辞典類の講読などを通じて、日本の古典芸能の基礎知識や特徴を調べ、ノートに要約する。																								
復習(事後学修)	<table border="1"> <thead> <tr><th>各授業</th><th>時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>[平均120]分</td><td>授業の内容を復習し、ノートを整理しておくこと。</td></tr> </tbody> </table>	各授業	時間	[平均120]分	授業の内容を復習し、ノートを整理しておくこと。																				
各授業	時間																								
[平均120]分	授業の内容を復習し、ノートを整理しておくこと。																								

成績評価	評価項目	評価項目の詳細内容	割合
	課題提出(レポート)	授業時に適宜、課す。興味をもって課題に取り組む姿勢と授業の理解度を確認する	20%
	小テスト		0%
	試験	授業の理解度を確認する	50%
	実習・学外学修活動		0%
	その他	〈娘道成寺〉の所化のセリフの創作、およびディスカッションなどにおける積極性と授業の集中度	30%

  

授業回	内容
1.	日本の古典芸能の概観 予習: 国立劇場・文化庁のHPを閲覧し、日本の古典芸能についての予備知識を得る 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
2.	日本の四大古典芸能である能楽・人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊の特徴に関する考察 予習: 国立劇場・文化庁のHPを閲覧し、疑問点をまとめておく 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
3.	道成寺劇のモチーフの広がりを概観する 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
4.	『今昔物語集』など能(道成寺)の本説(典拠)の講読(1) 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
5.	『今昔物語集』など能(道成寺)の本説(典拠)の講読(2) 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
6.	能(道成寺)の講読と鑑賞(1) 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
7.	能(道成寺)の講読と鑑賞(2) 予習: 能(道成寺)の演技を考える 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める
8.	能(道成寺)の講読と鑑賞(3) 予習: 能(道成寺)の演出を考える 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める レポートに取り上げるテーマを考える
9.	能(道成寺)と『今昔物語集』との比較検討 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める レポート作成のための調査を行う
10.	能(道成寺)と絵巻『道成寺縁起』との比較検討 予習: 配布資料を読む 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める レポート作成のための調査を行う
11.	人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊に見る(道成寺)関係の諸作品の講読と鑑賞(1) 予習: 国立劇場・文化庁のHPを閲覧するなどして、諸芸能の特徴を理解する 復習: 授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める レポートを作成する
12.	人形浄瑠璃文楽・歌舞伎・組踊に見る(道成寺)関係の諸作品の講読と鑑賞(2) 予習: 配布資料を読む 復習: レポートを作成する

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="363 165 427 293">13.</td> <td data-bbox="432 165 1399 293">           壬生狂言・近代能楽集(三島由紀夫作の戯曲集)・ゲーム・ボカロ曲に見る(道成寺)関係の諸作品の講読と鑑賞            予習:配布資料を読む            復習:レポートを作成する         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 300 427 427">14.</td> <td data-bbox="432 300 1399 427">           古典芸能の文化的価値を考える—授業の振り返りを兼ねて            予習:配布資料を読む            復習:授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める         </td> </tr> </table>	13.	壬生狂言・近代能楽集(三島由紀夫作の戯曲集)・ゲーム・ボカロ曲に見る(道成寺)関係の諸作品の講読と鑑賞 予習:配布資料を読む 復習:レポートを作成する	14.	古典芸能の文化的価値を考える—授業の振り返りを兼ねて 予習:配布資料を読む 復習:授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める						
13.	壬生狂言・近代能楽集(三島由紀夫作の戯曲集)・ゲーム・ボカロ曲に見る(道成寺)関係の諸作品の講読と鑑賞 予習:配布資料を読む 復習:レポートを作成する										
14.	古典芸能の文化的価値を考える—授業の振り返りを兼ねて 予習:配布資料を読む 復習:授業時に取ったノートを整理し、理解度を高める										
留意事項	<p>出席が2/3に達していない場合は評価の対象となりません。</p>										
教科書 (購入必要)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="363 631 427 786">1.</td> <td data-bbox="432 631 1399 786">           書籍名 対訳で楽しむ 道成寺            著者 三宅晶子            出版社 檜書店 ISBN(13桁) 4-8279-1014-6            その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 792 427 947">2.</td> <td data-bbox="432 792 1399 947">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 954 427 1108">3.</td> <td data-bbox="432 954 1399 1108">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1115 427 1270">4.</td> <td data-bbox="432 1115 1399 1270">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1276 427 1431">5.</td> <td data-bbox="432 1276 1399 1431">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> </table>	1.	書籍名 対訳で楽しむ 道成寺 著者 三宅晶子 出版社 檜書店 ISBN(13桁) 4-8279-1014-6 その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)	2.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)	3.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)	4.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)	5.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)
1.	書籍名 対訳で楽しむ 道成寺 著者 三宅晶子 出版社 檜書店 ISBN(13桁) 4-8279-1014-6 その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
2.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
3.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
4.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
5.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) その他、教科書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
参考図書 (任意購入)	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="363 1424 427 1579">1.</td> <td data-bbox="432 1424 1399 1579">           書籍名 能・狂言            著者 三浦裕子            出版社 日本文芸社 ISBN(13桁) 978-4-537-            参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1585 427 1740">2.</td> <td data-bbox="432 1585 1399 1740">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1747 427 1901">3.</td> <td data-bbox="432 1747 1399 1901">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1908 427 2063">4.</td> <td data-bbox="432 1908 1399 2063">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 2069 427 2224">5.</td> <td data-bbox="432 2069 1399 2224">           書籍名            著者            出版社 ISBN(13桁)            参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)         </td> </tr> </table>	1.	書籍名 能・狂言 著者 三浦裕子 出版社 日本文芸社 ISBN(13桁) 978-4-537- 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)	2.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)	3.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)	4.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)	5.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)
1.	書籍名 能・狂言 著者 三浦裕子 出版社 日本文芸社 ISBN(13桁) 978-4-537- 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
2.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
3.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
4.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
5.	書籍名 著者 出版社 ISBN(13桁) 参考図書に関する履修学生への連絡事項(非公)										
その他	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="363 2007 427 2063">1.</td> <td data-bbox="432 2007 1399 2063">配布教材等に関する履修学生への</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 2069 427 2125">2.</td> <td data-bbox="432 2069 1399 2125">配布教材等に関する履修学生への</td> </tr> </table>	1.	配布教材等に関する履修学生への	2.	配布教材等に関する履修学生への						
1.	配布教材等に関する履修学生への										
2.	配布教材等に関する履修学生への										



での他 (配布教材等により購入不要)	<table border="1"> <tr> <td>3.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>配布教材等に関する履修学生への連絡事項</td> <td></td> </tr> </table>	3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項		5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																			
3.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																											
4.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																											
5.	配布教材等に関する履修学生への連絡事項																											
参考URL	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1.</td> <td>webサイト名</td> <td>国立劇場</td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td>www.ntj.jac.go.jp</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.</td> <td>webサイト名</td> <td>文化庁</td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td>www.bunka.go.jp</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5.</td> <td>webサイト名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>URL</td> <td></td> </tr> </table>	1.	webサイト名	国立劇場	URL	www.ntj.jac.go.jp	2.	webサイト名	文化庁	URL	www.bunka.go.jp	3.	webサイト名		URL		4.	webサイト名		URL		5.	webサイト名		URL			
1.	webサイト名		国立劇場																									
	URL	www.ntj.jac.go.jp																										
2.	webサイト名	文化庁																										
	URL	www.bunka.go.jp																										
3.	webサイト名																											
	URL																											
4.	webサイト名																											
	URL																											
5.	webサイト名																											
	URL																											
実務経験のある教員等による授業科目 (実践的教育を行う授業科目)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実践的教育を行う授業科目の種別</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">授業内容との関連性</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3">授業内容との関連性</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>	実践的教育を行う授業科目の種別		対象	a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		-	授業内容との関連性						b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		-	授業内容との関連性						c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的		-			
実践的教育を行う授業科目の種別		対象																										
a. 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目 担当教員の実務経験(経歴・資格等)		-																										
授業内容との関連性																												
b. 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目 学外講師の経歴・資格等		-																										
授業内容との関連性																												
c. 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目 実習先・実習の目的		-																										
備考	<p>必要に応じて資料を配布する。</p> <p>鑑賞にふさわしい古典芸能の公演を紹介するので、なるべく実際の舞台を見るよう努めること。それが難しい場合は動画を視聴すること。</p> <p>能楽資料センター(武蔵野キャンパス1号館3階。開室、月~木)は能・狂言をはじめ日本の古典芸能に関する資料が充実している研究所である。ここを活用して古典芸能の理解度を高めること。</p>																											